

主催：「再生産領域のグローバル化とアジア」シンポジウム組織委員会
 協賛：国際移動とジェンダー (IMAGE) 研究会、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター、一橋大学ジェンダー社会科学センター、
 シンガポール国立大学アジア研究所、同大学人文・社会科学部地理学科
 後援：一橋大学大学院社会学研究科、お茶の水女子大学 21 世紀 COE プログラム「ジェンダー研究のフロンティア」

国際シンポジウム+プレシンポ企画

2007年12月7日(金)

会場：一橋大学 東キャンパス 国際研究館 4 階 大教室 (視聴覚室)

2007年12月8日(土)～9日(日)

会場：一橋大学 東キャンパス マークユー・タワー7 階 多目的ホール

再生産領域のグローバル化とアジア

—移住者、家族、国家、資本—

※報告タイトルは仮題を含みます。またプログラムは変更の可能性があります。

プレ・シンポ企画	12:30～4:00				
12月7日(金)	◆プレ・シンポジウム企画(国際研究館4階 大教室[視聴覚室]) 映画で観る<アジアにおける国際結婚、そして再生産労働の国際移転>(映画上映+解説) 司会:小ヶ谷千穂 解説:ブレンダ・ヨー、藍佩嘉 通訳:越智方美				
シンポ1日目	9:45-12:00	12:00-1:30	1:30-3:30	3:30-4:00	4:00-6:00
12月8日(土)	◆国際シンポジウム (日英同時通訳付、マークユー・タワー7階多目的ホール) 9:15 開場 9:45 開会挨拶 10:00 開始				
	セッション1 移民政策と再生産領域 司会:シャリーナ・ファン 討論者:徐阿貴 ● 伊藤るり「移民政策と再生産領域の政治——日本の文脈」 ● 澤田佳世『『男性化』する出生力と国際結婚——台湾における再生産連鎖とそのジェンダー的含意」 ● 金賢美「国家と移住女性——現代韓国における『多文化家族』生成とすれ違う期待」	休憩	セッション2 再生産労働の国際移転と移住労働者の権利 司会:安里和晃 討論者:篠崎香子 ● 小ヶ谷千穂「アジアにおける家事労働者の権利運動——ケア・チェーンは新たなアドボカシー空間を生み出しているのか」 ● 藍佩嘉「合法化された隷従とケアの下請け——台湾における移住家事労働者政策」 ● 大石奈々「ケア労働と国際移動——カナダにおけるフィリピン人介護労働者の事例から」	休憩	セッション3 親密圏における越境と商業化 司会:豊田三佳 討論者:イシカワ・エウニセ ● ニコル・コンスタブル「公的な商業とプライベートな親密性——米国-アジア間の越境的結婚と後期資本主義における国家規制」 ● フン・カム・タイ「ベトナム人ディアスポラのグローバルな親密圏経済において男性性を取り戻すこと」 ● ラセル・パレーニャス「恋愛遊戯の文化——東京の風俗産業に働くフィリピン人移住ホステスの性と道徳的境界」
シンポ2日目	10:00-12:00	12:00-1:30	1:30-3:30	3:30-3:45	3:45-5:15
12月9日(日)	セッション4 高齢者ケアの制度化と移住労働者(1) シンガポール 司会:澤田佳世 討論者:大石奈々 ● ブレンダ・ヨー、シャリーナ・ファン「シンガポールにおける国家の政策、外国人家事労働者、そして家庭内高齢者ケア」 ● シャリーナ・ファン、ブレンダ・ヨー、豊田三佳「シンガポールにおける国家の政策、移住ヘルスケア労働者、そして施設高齢者ケア」 ● 豊田三佳「高齢者のためケア・チェーン——シンガポールにおけるビルマ人移住ヘルスケア労働者」	休憩	セッション5 高齢者ケアの制度化と移住労働者(2) 日本 司会:小ヶ谷千穂 討論者:笹谷春美 ● 安里和晃「東アジア共同体と看護・介護従事者の国際移動」 ● 定松文「老人介護施設における『介護』の意味と外国人介護士への期待の醸成——『介護施設経営と外国人介護労働者受け入れに関する意識調査』の中間報告」 ● 足立真理子「再生産取引と介護保険」	休憩	セッション6 総括討論 再生産領域のグローバル化とアジア 司会:伊藤るり 討論者:上野千鶴子、金恩實 フロアとの討論 ● 閉会挨拶